

羽村市議会議員

日本共産党

鈴木たくや 議会/活動報告 No. 10
2010. 1. 25

すずたくだより



事務所 富士見平1-4-1松沢コーポ101 電話080-1058-9450
パソコンで好評!活動日記 <http://suztaku.blog.ocn.ne.jp> メール suztaku@ab.cyberhome.ne.jp



東京都が「少人数学級」を可能にする方針示す—共産党のいっかんした要求実る

◆皆さんこんにちは。共産党の鈴木たくやです。寒い中、いかがお過ごしでしょうか。

◆東京都教育庁が、来年4月から少人数学級も可能にする教員増員をおこなうと発表しました。現在は1クラス40人以下学級ですが、来年度は、小学1年生と中学1年生のクラスは39人以下にし、3年間で37人以下にまで引き下げる計画です。(小2にも拡大)

◆共産党はこれまで一貫して「少人数学級の実現で、どの子も力を伸ばせる教育を」と提案しつづけ、私も市議会で、全国での少人数学級の成果を示し、実現を求めています。その一歩がようやく始まります。

◆現在、羽村市の教育では、小中一貫教育の実施が最優先となっていますが、現場の先生

や父母の声を聞くと、「少人数学級の実現を」が一番の要望です。子どものことを本当に考えるのであれば、羽村市独自で都の基準より一歩進んだ少人数学級をおこなうことなどにこそ努力すべきではないでしょうか。

◆そのためにも、財政難できびしい今こそ、反対の声が多い「羽村駅西口区画整理事業」はいったん中止し、教育や、福祉・子育て支援などに優先的に予算をまわすよう、これからも声をあげつづけていきます。

こんなにすすんでいる！ 全国の少人数学級 (09年度)



	対象	ひとクラス
福島県	小1～中3	30人以下
神奈川県	小1～中3	35人以下
千葉県	小1～中3	36人以下

強引に
ひどい!

小中一貫教育の実施を教育委員会が決定

- 教員アンケートで、「反対」50%、「もっと検討を」45%
- 中学校での説明会では、ほとんどの発言が「疑問・不安」

この声に耳を傾けず…
(2面に続く)

●1月19日の教育委員会で「小中一貫教育の実施決定」がおこなわれました。約20人の市民が熱心に傍聴する中、「3年間議論を重ねた」などを理由にして、子どもにとって一貫教育がなぜ必要なのかの説得力ある根拠が示されないままの強行でした。

●数日前に教員アンケートが発表され、市内のほとんどの教員の理解が得られていないことが明らかになっていました。また、3つの中学校で昨年11月末におこなわれた説明会では、だされた意見のほとんどが疑問・不安の声。パブリックコメントにも多くの意見がよせられていました。

●共産党羽村市議団は18日に教育長に申し入れをおこない、「子どもを中心に、保護者、教員など関係者が力を合わせてこそ教育は良くなる」ことを指摘し、決定を強行すれば、羽村の教育に重大な障害をもちこむこ

とになると、拙速な決定の中止を要請していました。

●今後は、具体的な計画を学校ごとに策定することになりますが、保護者、教員の意見がきちんと反映され、子どもや教員に無理な一貫教育が強いられることがないよう、ひき続き声をあげていきます。



教育長へ強引な実施決定をおこなわないことを申し入れる共産党市議団(18日)

教員の50%「実施すべきでない」、45%「もっとじっくり検討すべき」

昨年12月末に市内の教員を対象におこなわれたアンケート(回答率80%)では、小中一貫教育について多くの教員が依然として疑問の声をもっていることが明らかになりました。「実施すべき」と回答したのは、わずか2%でした。

12月議会 一般質問

論戦ハイライト



12月議会では、3つのテーマについて質問しました。今回はいずれも子どもに関する問題です。1時間の持ち時間をめいっぱい使って質問しました。(発言は、内容を要約しています)

質問① 小中一貫教育について問う



乗り入れ授業について

鈴木 中学校の先生が小学校に教えに行き、その穴埋めに「非常勤講師」が中学校の授業を受け持つのでは、中学校の教育力の低下が懸念される。見直すべきでは？

教育委員会 学校の実態に応じて、学力が下がらない範囲の中で何ができるか考えてやって欲しいと考えている。

●4年前から小中一貫教育をおこなっている三鷹市で、教員からブーイングがあがっているのが、小学校・中学校の先生が行き来する「乗り入れ授業」です。

●「小中の一貫」ばかり強調され、自分の生徒への指導が不十分になっては本末転倒です。

●同じ方式を羽村でも実施しようとしていますが、抜本的に見直す必要があります。

質問② 保育園、幼稚園などでの経済的負担軽減を

保育料の値上げについて

鈴木 今回の保育料を決めた平成6年とくらべても、子育て世代の収入は年間約22万円も下がっています。「保育料を値下げすべき」といいたいところですが、すくなくとも料金を維持すべきでは？

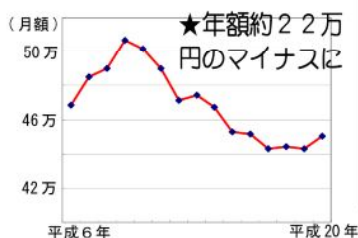
市長 答申の内容を考慮して、決定したい。

●保育料金を2年間で平均8.8%値上げすべきという答申が審議会から出されました(12/8)。

●質問時はまだ答申が出る前で、市長は考えを述べませんでしたが、深刻な不況の影響がつづく中、値上げすべきでないと考えます。

子育て世代 の実収入の 推移

(総務省・家計調査より、平成6～11年は30～34歳、12年以降は30～39歳世帯)



幼稚園、認証保育所などでの負担軽減を

鈴木 幼稚園の保護者からは、入園料への補助、助成金の増額を求める声があがっている。助成金を増やすべきでは？

市長 他市と比較しても遜色ない額を助成していると考えている。

鈴木 認証保育所、認定子ども園に子どもを通わせる保護者への補助金をつくるべきでは？

市長 利用していない家庭との公平性や、国や都の補助金があることから、その考えはない。

●幼稚園、認証保育所、認定子ども園に子どもを通わせる親から、利用料などの軽減を求める声があがっています。

●青梅市で幼稚園入園料補助金を始めるなど、他市では様々なとりくみが始まっています。羽村市も負担軽減に努力すべきです。

質問③ 学童クラブの充実を

大規模化への対応など

鈴木 大規模化している学童クラブを解消するために、増設をおこなうべきでは？

市長 武蔵野学童クラブは東児童館2階に第二クラブを設置する。栄学童クラブはひきつづき検討をおこなう。

鈴木 登所・所時間の延長をおこなうべきでは？

市長 現時点では変更する考えはない。

鈴木 障がいをもつ子どもの学年延長を検討すべきでは？



市長 現状では対象年齢の拡大は難しい。

●小学校低学年が放課後を過ごす学童クラブの充実について質問しました。武蔵野学童クラブでは大規模化を解消するため、東児童館2階に第2学童クラブを設置することが示されました。

●幼児用の部屋を学童クラブに切りかえるやり方のため、安上がりの対策という感が否めませんが、指導員さんの増員が図られることもあり、予算には賛成しました。しっかりと運営されるよう注視していきます。

陳情 12月議会で審議

■ 75歳以上のお年寄り医療費無料制度を東京都の力で

■ 生活保護世帯の70歳以上加算復活を

●年金がどんどん削られ、負担が増える中で、お年寄りの暮らしは大変きびしいものになっています。厚生委員会で審査した二つの陳情は、いずれもそうした暮らしを守るための市民からの提案です。

●共産党市議団は、政治の責任として努力すべきことと賛成しましたが、反対する会派が多く、不採択となりました。残念です。

予算要望を市長に提出

●10月23日に98項目の予算要望を市長へ届けました。

共産党の市民アンケートに寄せられた声などを



まとめたものです。様々な提案を引き続きおこない、実現にむげがんばります。

羽村でハローワーク

●「東青梅のハローワークに行くのも大変。電車賃も出ない」などの切実な声にこたえるために「羽村でハローワークが開けないか」との提案をおこなってきました。

●現在、図書館よこの産業福祉センターで月2回開催されています。まだまだ利用が少ない



ため、「週1回にふやすべきでは」と提案をしています。(写真は合同就職説明会の様子)

公共料金値上げストップを

●市の審議会・協議会から、公共料金値上げの答申が次々だされています。

●共産党市議団は、市長に対して「市民生活がたいへん苦しいもと、市民負担をふやす判断をすべきでない」と要請しました。値上げ中止にむけ、ご一緒に声をあげましょう。

国保税 8.8%値上げ

水道料金 18.57%値上げ

保育料 8.8%値上げ

※(審議会・協議会での答申)



日本共産党は、企業や団体からの献金をうけとらず、「**しん赤旗**」の事業収入、党費・カンパなどで活動費をまかなっています。だからこそ、国民の立場での活動が続けられます。ぜひ「**しん赤旗**」見本紙をご一読ください。

(↓この電話までご連絡ください)

日本共産党発行の

しん赤旗

くらしの視点で、政治のこと・社会のことわかりやすく

●日曜版 月800円
○日刊紙 月2900円

ご意見・ご要望などぜひお寄せください。
(電話080-1058-9450)

多くの住民が反対する羽村駅西口区画整理事業はストップし、市民の暮らし・教育に税金をまわそう